
恋愛詩篇

ナル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛詩篇

【Nコード】

N4155BA

【作者名】

ナル

【あらすじ】

恋愛をテーマとした短詩集。

01\04 「春夏秋冬」

1 「春夏秋冬」

春、君と出会った
まだ、桜が蕾つぼみだった頃

夏、君と笑った
太陽の下で

秋、君と喧嘩した
些細ささいなことで

最後の葉が枯れ落ちた時
君と別れた

2 「イニシャルリング」

大好きだった
あの人 gave くれた指輪

イニシャルリングだった

別れた今でも、見つめている

捨てたいのに、手放せない
忘れたいののに、消えてくれない

大好きだった

あの人 gave くれた指輪

イニシャルリングは、もうない

3 「後ろの席」

席を替えて数日

あなたが気になった

それから数日

あなたに話しかけられた

それから数日

あなたの目は、あの子を追っていた

それから数日

あなたはあの子の側に居た

それから数日

私は席を替えた

4 「小さなしあわせ」

君が笑ってくれた
君が喜んでくれた
君が ありがとう って、
言ってくれた

それだけで僕は
嬉しくて、たまらないよ

0508 「むずかしいね」

5 「むずかしいね」

想うことは
簡単だけど

言葉にするって
むずかしいね。

考えることは
簡単だけど

伝えるって
むずかしいね。

6 「2人じゃないよ」

2人なら、
辛いことは半分こ。

2人なら、
嬉しいことは2倍。

……なんて、よく言うけど。
もう、2人じゃないからね。

7「プロポーズ」

君の誕生日には、花を贈ろう。
君との記念日には、プレゼントを贈ろう。
君との休日には、たくさん話をしよう。
なんでもない日には、愛情を。

だから……、

8「告白」

「好き」だけじゃ足りない
「大好き」だけじゃ足りない
「愛してる」だけじゃ足りない

そんな言葉だけでは言い表せられないくらい
君に愛を抱いていた

09「窓」

9「窓」

あなたの姿が隣の窓に映るたび、
私はその姿を見つめてしまう。

この視線に、あなたはいつ、
気づいてくれるのだろう。

10「しっぱ」

ポニーテールが揺れる。

まるで、僕を誘惑するかのように。

ポニーテールが揺れる。

まるで、僕に掴まえて、と言うように。

もしも、そのしっぱを掴んだら、
君は僕に、振り向いてくれるかな。

11「わたくも」

あなたとの初めては、
いつも私をドキドキさせてくれます。

あなたといるときは、
いつも私はドキドキします。

だけど、なぜか心がわたくものように、
ふわふわするのです。

12「君は」

青空のように、君の瞳は澄んでいる。
雪のように、君の心は真っ白だ。
海のように、君は包んでくれる。
ガラスのように、君は透き通っている。

僕は、そんな君が大好きだよ。

13「シンデレラ」

13「シンデレラ」

たまには芸能人みたいに
キレイにもなりたい。

たまには御伽噺のような
ヒロインにもなりたい。

だから、今だけ、
あなたといられる、この時間だけ、
お姫様のままで、いさせて下さい。

14「ユキドケ」

君は泣くと、
雪のように とけてしまいそうで、
その震える肩に触れると、
崩れてしまいそうで。

そんな繊細な君を、
守りたくなるんだ。

15「つとめて」

前を歩く、君を見つけた。

その後ろ姿に、何かしたくなった。

そつと、君に近づいて、

とつさに、君のフードを掴んだ。

思いつきり、君の頭に被せて、

僕は笑ってやった。

君はちょっと、怒っていたけど、

すぐに、微笑んでくれた。

それは、冬の早朝のこと。

話す為のキツカケが欲しかったんだ。

16「大切さ」

織姫様と彦星様は、

一年に一回しか会えないんだって。

ベガとアルタイルの距離ってね、

14光年もあるんだよ。

私達は会いたい時に会えるよね。

それって、とっても幸せなことだよね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4155ba/>

恋愛詩篇

2012年1月10日23時49分発行